

国分寺市教育委員会議事録・第3号

会議の種類 第2回国分寺市教育委員会定例会
会議の日時 令和7年2月27日(木) 午前9時30分
会議の場所 国分寺市役所 会議室201

会議の出席者

(教育委員会)

教育長	古 屋 真 宏
教育長職務代理者	大 木 桃 代
委 員	辻 亜希子
委 員	藤 井 健 志
委 員	武 内 彰

(説明員)

教育部長	日 高 久 善
教育総務課長	廣 瀬 喜 朗
学務課長	村 上 航
学校指導課長	高 橋 美 香
学校教育担当課長	關 友 矩
指導主事	渡 辺 大 輔
指導主事	柴 田 慈
社会教育課長	諸 橋 広 光
ふるさと文化財課長	新 出 尚 三
市史編さん室長	依 田 亮 一
公民館課長兼本多公民館長	本 多 美 子
図書館課長兼本多図書館長	有 賀 真由美

(事務局)

書 記	保 谷 裕 子
書 記	人 見 杏 平
書 記	山 口 徹

傍聴人 0人

〔開会と署名委員の指名〕

午前9時30分、教育長は開会を宣言し、署名委員として1番藤井委員、2番辻委員を指名した。

〔前会議事録の承認〕

- ・令和6年12月26日開催の令和6年第12回国分寺市教育委員会定例会議事録第15-1号
- ・令和6年12月26日開催の令和6年第12回国分寺市教育委員会秘密会議事録第15-2号

〔教育長等の報告〕

教育長 おはようございます。本日もお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

先週の金曜日に都立高校の入学試験が終わりました。今年度の受験も終盤に近づき、中学校の卒業式まで残り3週間ほどとなります。進級、進学に向け、まとめの時期ということで、しっかりと対応していきたいと思います。

また、2月21日から第1回定例会市議会が始まりました。教育に関する質問も数多くいただいておりますが、報告は後日といたします。よろしくお願いします。

〔議事〕

なし

〔協議〕

なし

〔報告〕

1 令和6年度国分寺市教育委員会児童生徒表彰被表彰者の決定について

(事務局からの説明)

教育総務課長 資料 No. 1 を御覧ください。2月4日に当該表彰に係る審査会において、市立学校に在籍する児童・生徒のうち、体育、音楽分野などの各活動において、特に優秀な成績を挙げた者に対する表彰の要否についての審査を行い、資料のとおり、小学生7人、中学生4人及び1団体の表彰対象を選定しています。

項番2、表彰事由欄には、全国大会、都大会出場などの主なものを載せています。被表彰者の同意が得られましたら、今後の教育広報紙にも掲載していきたいと考えています。

表彰式は昨年同様実施する予定で、3月上旬にひかりプラザで開催いたします。

(意見・質疑の要旨)

大木教育長職務代理者 昨年度、団体には表彰状が1枚のみと伺い、児童、生徒個人に対しても、何か記念になるものを御検討いただけないかと申し上げました。今年度は野球のチームが団体かと思いますが、どのように扱われますか。

教育総務課長 今年度は、昨年度の意見を受けて検討を加え、大会に登録した団体の各メンバーにメダルを用意しています。表彰状とメダルという形で、表彰状は1枚、メダルは団体に所属する個々の生徒にお渡しします。

大木教育長職務代理者 御対応いただきありがとうございました。そのような形で目に見えるものがあると、この先もずっと記念になり、励みにもなると思います。

2 令和6年度卒業式・令和7年度入学式の出席について

(事務局からの説明)

学校指導課長 資料 No. 2 を御覧ください。表面に卒業式出席者、裏面に令和7年度入学式出席者をお示ししています。卒業式の日程は小学校が3月24日、中学校が3月19日です。入学式については記載のとおりです。今回、教育委員会側の出席者をお示ししていますので、御参列のほど、よろしくお願いします。

市長部局の出席者については、決定次第お知らせします。告辞等についても、決定次第お送りします。御来賓の受付時間等の詳細についても、別途お知らせする予定です。

(意見・質疑の要旨)

教育長 教育委員の皆様にも御出席いただきますが、どうぞよろしくお願いします。

3 令和7年度新たな市史編さん事業推進計画について

(事務局からの説明)

市史編さん室長 資料 No. 3 を御覧ください。新たな国分寺市史編さん事業は、市制施行60周年を迎えた令和6年度から着手しました。令和6年6月下旬に原始・古代・中世部会、近世・近現代部会、現代市制部会という3つの専門部会を立ち上げ、各部会長を中心に、市史の原稿執筆者となる研究者と市民協力員が編さんの実務に加わり、資料調査を進めています。2月6日に国分寺市史編さん推進委員会を開催して、各部会における今年度の活動状況を報告し合い、それを踏まえ、決定した令和7年度の事業計画が資料 No. 3 です。基本的には、令和6年度に進めてきた各種資料調査の継続を記していますが、市史編さん事業は市史の本編が刊行されなければ、なかなか日々の調査活動を皆様にお示しすることが難しいこともあり、この場をお借りして、各部会の活動状況について説明します。資料は大まかに、項番1、専門部会と事務局（市史編さん室）とが連携した編さん業務の推進と、3ページの項番2、関連事業（市民向け講演会・講座の開催）に区分しています。

項番1、専門部会における編さん業務、(1) 原始・古代・中世部会は、約3万5,000年前の旧石器時代から、約400年前の徳川家康による江戸幕府が開かれた時代以前の時代を扱う専門部会です。扱う資料の特性上、旧石器時代、縄文時代、すなわち人類史上で文字が出現する以前の土器や石器の類いの考古学資料を中心に分析する①考古学グループ。本市が全国に誇る遺跡、主に武蔵国分寺や本庁舎脇にある東山道武蔵道から出土する瓦や七重の塔、金堂、講堂など、寺の伽藍を構成する建築物を扱う②国分寺グループ。日本書紀、吾妻鏡、鎌倉遺文など奈良時代、平安時代、鎌倉時代、室町時代の文献、紙に書かれた文字資料を扱う③古代中世グループ。以上3つのワーキンググループに分け、調査活動を行っています。①考古学グループ、②国分寺グループは、武蔵国分寺跡資料館や国分寺市立第四中学校に併設されている文化財資料展示室や市内の文化財収蔵庫に収められている資料を調査し、③古代中世グループは、国会図書館や大学の研究室等で所蔵されている資料の修正作業などを進めています。

(2) 近世・近現代部会は、江戸時代から明治、大正、昭和30年代まで、すなわち市制が施行される以前の歴史を扱う専門部会です。約40年前の旧市史編さん事業では、市内に

お住まいの約 80 件近くの旧家の方々から古文書をお預かりし、旧市史編さん室の閉鎖後も、業務を引き継いだふるさと文化財課で古文書の収集を進めてきました。その古文書は段ボール箱に換算して約 140 箱に上り、長らく手をつけていない状況でしたが、このほど殺虫、燻蒸処理として、紙の劣化につながる埃や虫を防ぐ処理を施したため、資料の目録づくりを現在進めています。

このほか、古文書のみならず、市内の寺や神社の石造物や梵鐘、遺跡から発見された防空壕や戦時中の遺物、忠魂碑など、近現代における生活や戦争等についても聞き取りを含めて調査を実施する予定です。また先般、国分寺市立第二小学校の創立 80 周年記念式典に参加しましたが、学校教育に関わる資料も射程に入れ、更なる資料収集を図っていきます。

(3) 現代市制部会は、昭和 39 年以降、国分寺町から国分寺市へ移行した後の時代を扱う専門部会です。現在、町報・市報の見出しや、市域に関連する新聞記事の収集・目録化作業を進めていますが、国分寺統計などの統計資料から見えてくる地域の特色の分析や、各分野で長らく活動されている地域の方やその関係者、さらには市の元職員等にヒアリングし、記録化を進めています。また、旧市史編さん室、ふるさと文化財課が収集してきた市内の古い地図も、目録づくりから着手して、いずれ本市の地図・絵図を集めた資料集などの刊行を目指したいと思います。

項番 2、関連事業については、市史編さんの資料調査で判明した新しい成果は、市史の本編の刊行に時間を要するため、速報の意味も兼ね、市民向けの講演会などを企画していきます。今年度も開催をしている、くずし字を読み解く古文書講座は特に人気があり、初心者向けの講座を継続することで、市民に自ら古文書を解説してみようと思っていただき、市史編さんを一緒にやってみたいという方々を少しずつでも増やしていけたらと思います。

(意見・質疑の要旨)

大木教育長職務代理者 新たな市史編さん事業が、大変すばらしく、着実に進んでいることをとてもうれしく思いながら拝聴しました。

今回、各部会において、どのような形で進めていくかについて説明がありましたが、(1) は、3 万 5,000 年前から 400 年前と、時代があまりにも幅広いため、3 つのグループに分けて進めていることは理解しました。

(2) や (3) はグループなどには分けずに全体で進めていますか。計画のレイアウトが (1) と (2)、(3) では異なりますので、どうなっているのかと思い、お伺いします。

市史編さん室長 各部会の活動状況ですが、原始・古代・中世部会は扱う資料が様々で、グループの細分化が必要な局面が出てきています。対して、(3) の現代市制部会は、市報・町報から目を通していく作業が中心ですので、一つのグループでまとまって活動を進めています。近世・近現代部会についても、グループ活動の細分化までは行っていませんが、古文書に集約して研究を深めている先生もいれば、市内の寺社を回り、梵鐘や石造物の調査に奔走している先生もいまして、徐々に活動が細分化している状況です。

大木教育長職務代理者 各部会の特性に合わせて適切な形で進めているということですね。2 ページに記載されている生活・民俗編、地図・絵図編などは、どこに所属する説明ですか。

市史編さん室長 生活・民俗、地図・絵図、行政・福祉・教育などは、近世・近現代部会と現代市制部会両方にまたがるテーマで、どの部会でどのようにすみ分けをして進めてい

くかという議論は深めていませんが、地図・絵図については、集めた古い地図や絵図をそれぞれの部会に振り分けて調査を深めている状況です。

大木教育長職務代理者 どの説明なのかと思い、伺いました。必要に応じて、(2)と(3)に振り分けていくけれども、両方に関わっているということですね。

辻委員 説明を伺い、非常に幅広い分野で、専門性が高い内容について作業されていることが分かりました。誰もができることではなく、それなりの知見を持ち、経験のある方が必要だと思いますが、御協力いただける方は十分に来ていただけているか、お尋ねします。

市史編さん室長 市史の原稿を執筆する近在の研究者はそれぞれ勤務しており、会合に集まる機会は少ない状況ですが、昨年7月から各部会の活動を始めて、部会ごとに約10回程度集まって会議を開いたり、現地のフィールドワークを進めたりしています。毎回全員が集まるのは難しいですが、各部会の中で情報を共有しながら調査を進めている状況です。

教育長 人材の確保という点ではいかがですか。

市史編さん室長 東京や多摩地域の地域史に造詣が深い方々を各部会で、部会長を中心に集めている状況で、専門性については申し分のない経歴をお持ちの方々がそろっています。

辻委員 部会長を中心に人脈を使い、専門分野の方に来ていただけていることで、安心だと思います。

一方で、研究者ではなくても、関心のある市民は引き続き募集されると思いますので、講座を機に興味を持った方が、各グループで、関心のあるところで学んだことを生かしていく場にもなるとよいと思いました。

〔その他〕

な し

〔閉会〕

午前9時50分、教育長は閉会を宣言した。

署名委員 1 番 藤 井 健 志

2 番 辻 亜 希 子

調製職員

廣瀬 喜朗